

# 琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係

沖縄復帰記念式典(4) (ロジスティックス関係)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43583">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43583</a>

總理挨拶

#### 新沖縄県発足式典における内閣総理大臣祝辞

本日、ここに各界代表多数の御参列を得て、「新沖縄県発足式典」が挙行されるにあたり、お祝いのことばを述べる機会を得ましたことは、私の最も喜びとするところであります。

本日、沖縄は祖国に復帰いたしました。申すまでもなく、今日に至るまでには、戦中、戦後を通ずる沖縄県民各位の筆舌に尽くしがたい辛酸の長い年月があつたのであります。日本国民のすべては、この日を迎えるにあつて、このことをあらためて深く考えなければなりません。沖縄の返還という歴史的な偉業が達成されましたのは、この長い苦悩の年月を生き抜いてこられた県民各位の忍耐と努力と英知のたまものであります。私は、ここに沖縄県民各位に対し、これまでのご労苦を心からねぎらうとともに、衷心より敬意を表するしだいでありませう。

顧みれば今を去る七年前、ここ沖縄の地を訪れ、みなさんの前で「沖縄の復帰なくして日本の戦後は終わらない」と、固く復帰への努力を誓つたのであります。爾来、私は沖縄の返還を最も大きな目標として掲げ、真正面からとりくんでまいりました。本日、この式典に臨むにあつて、まことに感慨無量なるものがあります。重ねて申します。

本日沖縄は祖国に復帰いたしました。

しかしながら復帰にあつて、県民各位の間では種々の不安と幾多の要望があることを私はじゆうぶん承知して居ります。これまでも、復帰に伴う混乱を避けるよう配慮しつつ、県民の福祉と沖縄経済の発展のためかずかずの施策を講じてまいつたのであります。今後はさらに各位のご意向を反映しつつ、新しい沖縄県が明るく住みよい県として発展するよう政府諸施策

を強力に進めてまいりたいと存じます。

最後に、県民各位が心から祖国復帰を喜こんでいただけるよう今後一層の努力を期するとともに、新しい沖縄県の発展と県民各位のご健勝をお祈りし、祝辞といたすပါであります。

昭和四十七年五月十五日

内閣総理大臣 佐藤 栄 作